



8月1日開催

南部陣屋150年祭

伝え残そうまちの歴史財産



よさこいソーランなどのステージで盛岡市民を歓迎した交流会



史跡内では、野だてなどが行われ、150年の歴史に思いをはせた

南部陣屋150年。幕末の歴史を残す歴史財産の意義を21世紀に伝え残さなければなりません。岩手県盛岡市から南部藩ゆかりの人たちが訪れた記念式典では、半世紀ぶりの交流を行いました。

兵約350人が、約13年にわたり、北辺の警備に当たったが、明治元年、奥羽越列藩同盟に南部藩も参加を決めたことから、新政府への明け渡しを拒んだ藩士たちが陣屋に火を放ち故郷へ帰還。この間異郷の地に果てた者も多く、13人が今も史跡内の墓地に眠っている。

南部陣屋の歴史は、外敵から東蝦夷地を守るため、幕府から南部藩（現在の岩手県盛岡市周辺）に陣屋構築を命じた安政2年（1855年）から始まる。翌年、100人余りが突貫工事で陣屋を築きあげた。南部藩



慰霊祭には、南部藩当主名代の南部利文さんが先祖の供養に訪れた

今年行われた150年祭には、南部家45代当主名代の南部利文さんをはじめ、盛岡市から訪れた33人を含む約200人が参加。史跡内墓地での慰霊祭や記念式典で、北辺警備の任務を遂行した藩士たちの労をしのいだ後、室蘭市民と交流が行われ、東北と北海道を結ぶ、強いきずなを風化させまいとする両市民の熱い思いが150年祭で確認された。市内唯一の国指定文化財である南部陣屋の歴史的意義を、今一度見直してみよう。

昭和9年5月1日、市内で唯一の国指定文化財となり、同29年には100年祭を開催。南部家44代当主南部利英氏夫妻を始め、南部藩ゆかりの人など200人が室蘭を訪れた。その後、同43年から48年にかけて土塁と堀の修復や屋敷跡の平面復元が実施され、現在陣屋町会や南部陣屋史跡の会などが維持、保存に尽力している。

西 暦	事 項
1855 (安政2年)	幕府が蝦夷地を直轄地にし、南部藩などに警備を命令。新渡戸十次郎（新渡戸稻造の父）らが現地を視察し、陣屋の構築を決定
1856 (安政3年)	南部藩陣屋を構築（3月～9月）
1859 (安政6年)	エトモ（モロラン）・幌別・虻田東半分は南部藩領地に
1868 (明治元年)	戊辰戦争ぶっ発。奥羽越列藩同盟に南部藩も参加決定。藩士たちが南部藩陣屋を焼き払い退去
1869 (明治2年)	蝦夷地を北海道と改める。モロランは胆振国室蘭郡となる
1934 (昭和9年)	南部陣屋が国の文化財に指定される（5月1日）
1954 (昭和29年)	南部陣屋史跡100年記念祭（8月1日）
1967 (昭和42年)	南部陣屋復元工事開始。71年平面復元完成
1974 (昭和49年)	「東蝦夷地南部藩モロラン陣屋跡」石碑建立
2003 (平成15年)	室蘭南部陣屋史跡の会設立。南部陣屋修復工事
2004 (平成16年)	南部陣屋150年祭（8月1日）

●指定居宅介護支援事業所 ●介護機器の販売・レンタル
●ホームヘルパー派遣サービス ●住宅改修サービス

北海道知事指定

生きがいセンターほこい

室蘭市新富町1丁目2番(母恋駅前)
TEL(0143)22-0150・FAX22-0151

JR母恋駅 旧国道36号線 至登別

日鋼記念病院 生かしのセンター ほこい

お客様駐車場30台完備

2005年度 学生募集

専門課程 2年制・男女 **介護福祉学科** 専門課程 2年制・男女 **調理師学科**

就職希望者全員 信頼と実績の就職率 **100%** 11年連続達成!

入学試験: 10月2日より 奨学金・修学資金制度あります

学校法人北斗文化学園 厚生労働大臣指定養成校

北海道福祉衛生専門学校

第1校舎 〒051-0004室蘭市母恋北町1-5-11 ☎(0143)22-7722(代)

第2校舎 〒051-0012室蘭市山手町1-11-34 ☎(0143)25-2211(代)

入試・就職広報室/ ☎(0143)22-5005 入試広報室/ ☎(0143)25-2288